

## 平成31年度 学校教育目標設定報告書

学校番号 37

学校名 千葉県立国府台高等学校

課程名 全日制の課程

領域	重点目標	具体的方策 (具体的な取組, 手立て)	評価項目・指標 (評価方法・評価基準)
学校経営	1 魅力ある学校づくりを推進する 2 協働と責任感のある学校運営を行う	① 教育的ニーズを把握、共有しながらより良い教育計画を立案・実践する。 ② 信頼され、開かれた学校づくりを推進する。 ③ ホームページ内容を適宜更新し、学校だよりやPTA会報等をタイムリーに保護者や地域に発信する。 ④ 職員全体で、教育目標や重点目標は共有し、その実現を目指す。 ⑤ 学校評価等を学校経営に反映させ学校改善を推進する。 ⑥ 部活動活動指針に従い、適切な休養日および活動時間の設定を行い部活動従事時間に関する意識改革に努める。また、定期考査時や長期休業期間中は、年次休暇等の取得及び定時退勤を奨励する。	① 生徒・保護者の学校生活への満足度85%以上か。 ② 開かれた学校づくり委員からの意見や協議内容。 ③ <u>ホームページ、校長だよりの掲載内容・更新状況(週2回以上の更新)</u> 。 学校だより、PTA会報の地域への配布(年3回)。 ④ 職員面談の実施。各職員の目標申告の内容。 ⑤ 自己評価、学校関係者評価の結果全般。 ⑥ 教職員の在校時間等の状況の確認。前年度実施した働き方改革に関する意識アンケートとの比較。
学習指導	○ 生徒一人一人の学力の向上を図る	① 主体的・対話的で深い学びの授業の実現を目指し授業改善、カリキュラム・マネジメントを推進する。 ② 部学力把握のための課題テスト、英単語及び漢字テストを効果的に実施し、その結果分析により、課題を明確にして学校全体で共有する。また、課題改善と学力向上を目指した補習及び進学補講を実施する。 ③ 指導力改善を目指した教員研修、研究授業を実施する。 ④ 私立高校及び異校種間の公開授業、授業参観を行い自分の授業改善に生かす。	① <u>生徒による授業評価アンケートの結果、授業満足度が85%以上か。</u> ② <u>学習課題の明確化と共有化ができたか。英単語・漢字テストの結果の推移。補講、補習の実施回数と延べ参加人数。</u> ③ <u>校内研究授業の実施回数とその状況。</u> ④ 公開授業の実施回数、他校授業参観の参加状況。
生徒指導	1 心身ともに健康で意欲的な生徒を育成する 2 国府台マインド(他の人の役に立ち他の人から必要とされる人になる力)を育成する	① 校門指導や登下校指導を行い、挨拶の励行や安全指導の充実を図る。 ② 他機関との連携を強化する。 ③ 生徒会や部活動生徒等を中心に、地域イベントやオリ・パラに関するボランティア参加を推奨する。 ④ 生徒理解のために積極的に個人面談を実施する。 ⑤ いじめを許さない環境づくりに努める。 ⑥ 特別な配慮を必要とする生徒の把握と保護者との合意形成を図る。	① 遅刻指導対象者の人数。安全指導の状況。挨拶の状況。 ② 特別支援教育に関する職員研修の実施とその状況。 ③ ボランティア活動への参加状況及び参加人数。 ④ 個人面談の実施状況。 ⑤ <u>学校いじめ防止基本方針に基づく取組の実施状況。</u> ⑥ <u>特別支援教育委員会の定期開催と保護者面談の実施状況。</u>
キャリア指導	1 キャリア教育を推進し進路実現を図る 2 国府台マインド(自分自身を理解し自分らしいキャリアデザインを描く力)を育成する	① 進路のしおり、進路だよりを充実させ、的確で最新の進路情報を提供する。 ② <u>ガイダンス等計画的、系統的な進路指導を行い、進路希望の実現を達成させる。</u> ③ 1, 2年生は校外学習を実施し様々な体験学習の機会を設定する。	① 各資料の内容、ホームページ等での情報の発信数、進路説明会の実施状況と出席者数。生徒・保護者のキャリア指導の満足度が85%以上か。 ② <u>進路ガイダンス、キャリアガイダンスの工夫・取組状況。</u> ③ 校外学習のプログラム内容、成果物(報告書)。
特色ある教育活動	○ 地域の小・中学校や大学、関係機関との交流・連携を推進する	① 「学力向上」をテーマとした市川市中高連携推進事業を活発に行う。 ② 県指定「お兄さん・お姉さんと学ぼう事業」による近隣の小学校への特別授業を行う。 ③ 国府台コンソーシアムを活用し近隣の大学や特別支援学校等異校種間で生徒、職員の様々な交流の場を設ける。 ④ 地域行事等へ積極的に参加する。	① 連携事業の内容、実施回数、参加状況。 ② 授業内容、実施回数、アンケート結果。 ③ 交流の内容、実施回数。 ④ 地域行事への参加状況。